

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月3日	記入者		連絡先	内線2688	
平成18年度部名	保健福祉部	課名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義	
平成19年度部名	福祉部	課名	障害福祉課	課長名	原 修	
事務事業名	在日外国人高齢者・障害者等福祉給付金支給事業					
予算上の事務事業名	在日外国人障害者等福祉給付金支給事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11310	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくりまします					
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加					
施策名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	外国籍県民高齢者・障害者等福祉給付金助成事業補助金交付要綱 相模原市在日外国人高齢者・障害者等福祉給付金支給要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市障害者福祉計画			障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実地計画（前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22）		
計画年次	10	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度	平成8年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
公的年金を受給していない外国人障害者等に福祉給付金を支給し、福祉の増進を図る。				(2) 対象(誰、何)		1年以上市内在住の在日外国人障害者で無年金となっている者
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
3月と9月に6ヶ月分ずつの支給 実績 重度障害者 38,000円×55人(延) = 2,090,000円 中度障害者 26,000円×0人 = 0円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	県事業であり、神奈川県全域で行われている。 県要綱に定められた給付額に市単独で上乘せして、支給している市もある。					
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	1,980	1,728	2,090	2,280	2,280	
一般財源	990	1,152	1,393	1,520	1,520	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	990	576	697	760	760	
人件費の合計	0	0	0	0	0	
事業コスト合計	1,980	1,728	2,090	2,280	2,280	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率	事業名 (主たる事業名) 在日外国人障害者等福祉給付金支給事業					
	対象名称と単位			給付金延べ支給人数		
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	1,980	1,728	2,090	2,280	2,280	
対 象 数	55	48	55	60	60	
単位あたり経費(円)	36,000	36,000	38,000	38,000	38,000	
前 年 度 比	1.00		1.06	1.00	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	福祉給付金支給対象者数	指標式と指標の説明	H16 重度障害者 + 中度障害者		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	55	48	55		
目標	55	55	55	55	55
目標達成度（%）	100.0	87.3	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	福祉給付金支給率	指標式と指標の説明	支給者数/支給対象者		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を受けている。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		県の補助金交付要綱に基づき実施しているものであり、今後も継続して実施していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
特に無し			特に無し		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			